1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
2000年２月16日発行ＳＳＫＰ　　通巻1140号　　つくつく通信No. 40

SSKP　つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2000年2・3月号
（No. 40）

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

広がれ!! 放課後保障

新しいグループ

二月十一日、障都連（障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会）主催の会の放課後活動の分科会に参加し、最近活動を開始したという三つのグループの話を伺ってくることが出来ました。

まずはその報告をば……。

パオパオくらぶ（江戸川区）

昨年度から活動を開始している。江戸川区では初の放課後保障のグループ。区内の一人の作業療法士の方を中心に発足。12人の子ども達と指導員3人とボラ達で、毎週金曜日に活動中。来年度からは週二～三回の活動を行なう予定。今年度から活動拠点として2DKの部屋を3万円で賃借。補助金の申請はお願いしているものの「まずは実績をあげること!!」と言われるばかりで、進展がない状態とのこと。

風の子クラブ（葛飾区）

今年度から活動を開始している。葛飾区では初の放課後保障のグループ。水元養護に通う親達を中心に発足。16人の子ども達と指導員1人とボラ達と母親達で、毎週水曜日と第一・第三土曜日に活動中。待機者もかなりの人数がいる様子。来年度から区単独の通所訓練事業として約三百万円強の補助金を受けることになったが、毎月多額の家賃を支払っており、資金不足は相変わらず深刻とのこと。

みんなの家（大田区）

昨年度から活動を開始している。大田区では二つ目の放課後保障のグループ。放課後保障の必要性を感じていた有志達（親ではない）を中心に発足。13人の子ども達と3人の指導員とボラ達で、月・火・水・金に活動中。活動拠点は、地元の会社の使われていない社員食堂を格安で賃借。補助金等がなく、3人分の給料を親の負担金で賄っているため、会費はかなり高額となってしまっている。妻子持ちの30代の男性が月6万の給料で頑張ってくれているという話を聞き、ただただ呆然……。

思い出すなあ……

皆さんの苦しい運営状況の話を伺っていると、つくしんぼを始めたばかりの頃の自分達の姿とどうしてもオーバーラップしてしまいます。早いもので、もう丸四年も前のことになります。

何も分からないままに障害児学級に通う親達が勝手に集まって放課後活動の場所をスタートしてみたのはいいけれど、補助金が欲しいと頼んでも「絶対に補助金など出せないと思う」と言われ、それでも障害者プラン作成委員会などに出てはしつこく「補助金が欲しいー!!」と言い続け、この『つくつく通信』を発行しては愚痴と皮肉を書き続け、利用出来そうなテレビや雑誌には片っ端からアポを取ってはネタにして貰い、ホームページを作って全国展開の営業をし…。

やっとのことで念願かなったのが、二年前の四月のことでした。

お金のなかった最初の二年間、とってもしんどかったけど、でもそれをバネにして逆に楽しくやっていたことを思い出します。

だからこそ、新しいグループを応援したい気になってしまうのです。

さて町田の話ですが

町田市内で学童保育型の放課後保障を行っている施設は、あらぐさ分教所とウチの二つだけしかありません。そして、この二つともが主として知的ハンディをもつ子ども達のための施設として運営されています。

先日、肢体不自由の子の親御さんから連絡を受けました。「ウチの子は知的には問題がないのだけれど、受け入れて貰えるのでしょうか?」と。

実のところ「ぜひいらして下さい」とは言えませんでした。一つの理由は、自閉で多動傾向の子が多いゆえ外遊びを優先としているつくしんぼが、肢体不自由の子の楽しめる場所になり得るのだろうか?と思ってしまったからです。もう一つは、つくしんぼが車椅子ではどうにもならない環境だからです。庭は石ころだらけでこぼこだし、玄関の段差は50㎝以上もあるし……。

結局「とりあえず一度見学にいらしてみて下さい」としか言えませんでした。

次に必要なものは……

私達は、もっと障害児の放課後保障の場が必要だと思っています。そして特に肢体にハンディをもつ子のための場所が必要なのではないか、と。

ただ誰かが声を上げて動き始めないと、行政サイドからは決して動いてはくれません。「この指とまれっ!!」と宣言する方が早く現れてくれないかなあと思う今日この頃です。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

2月5日(土) 天気 はれ

今日は少しおそいつくしんぼのまめまき。みんなが集まり「さ～はじめましょう!!」一番張り切っていたのはM君の母☆

そして鬼は……職員3人とHくんのパパ。

母たちはみな日ごろのうらみを職員にぶつけ…。くいしんぼうS君は「おかしは投げないで！ もったいないね～」と言いながら、投げた豆やお菓子を拾って歩いていました。

さて、まめまきはほんの10分くらいで終わり、室内に入って、借りたパソコンでつくった『カラオケマシン』を使ってのザ　カラオケ大会!! モーニング娘だの、ジャニーズだのと、も一番張り切ってマイクを独占していたのはM君母子なわけなのですが……。

ちなみに、通信カラオケ料金はいまだ未納状態です。(^0^)

ささえる会ご入会・ご更新ありがとうございました

宮川様、会田様、佐藤様、松田様、真野様、西本様、南様、渡辺様、根岸様

ご寄付・ボランティアありがとうございました

高尾様、福井様、坂井様、加藤様、川本様、荻野様、増田様、鈴木様、山田様、宮川様、小池様、大橋様、松崎様、田上様、鈴木様、東京善意銀行様、ＮＴＴ移動通信網様

（1月）

つくしんぼ**ホームページ**が**インターネット上**で営業中!! アドレスは http://www.join-am.ne.jp/~tsukushi/ です

1977年12月３日第三種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
2000年２月16日発行ＳＳＫＰ　　通巻1140号　　つくつく通信No. 40

SSKP

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後５時まででーす!!

つくしんぼ 交遊録

みんなで楽しく音楽を!!

福井　友子

造形を指導されている高尾さんにお話を頂いて「つくしんぼ」で音楽のグループ活動をはじめて10ヶ月が過ぎようとしています。毎回毎回が驚きと発見の連続で、楽しさと緊張感が背中合わせの１時間です。

音楽には、こうでなくてはという決まった答えはがあるわけではないので、子ども達それぞれが自分なりのスタイルで音や音楽にかかわって欲しいと思っています。ですから音楽の時間には「ダメ」はありません。「こっちの方が楽しいよ」をモットーにプログラムを展開させています。

しかし……つくしんぼの子ども達の音楽的能力には目を見張るものがあり、ついついもったいないので色々と考えてしまいます。ですが、まずは「楽しく」が第一です。楽しみながら、どんどん伸びていって欲しいですね。

音楽は人間に対して、特に障害を持つ子ども達には大きな役割を持つと言われています。伴奏や人と合わせて演奏することで「～に合わせる」自己調整力が身につき、まわりの人とのやりとりが上手になり、社会性を高めることになるそうです。

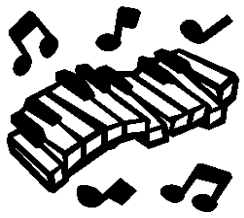
音楽は、言葉以前のコミュニケーションが基となるところに働きかけが出来るので、自己表現の手段として、情動を発散させ、情緒を安定させることにもつながります。言葉にならない部分を音楽が埋めていくのですね。音楽によって外の世界に気づき、かかわることで、全体の中の自分の存在への気づきにもつながります。

なんだか難しそうに言っていますが、みんなで一緒に音楽が楽しめればオールクリアーです。

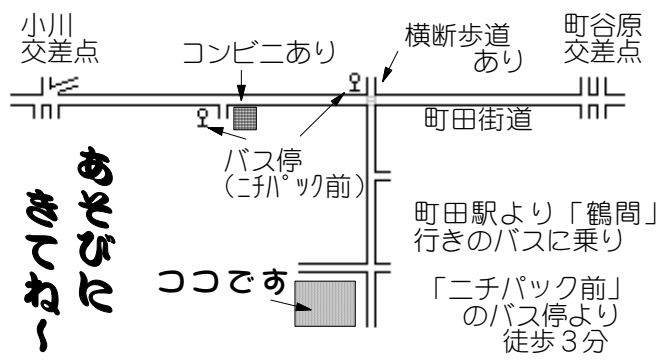
つくしんぼの子ども達の今年のスローガンは「みんなで楽しく音楽を!!」です。

元気で楽しいお母さま方、今年はステージママになって頂く予定です。つくしんぼの子ども達の演奏を発表します。造形と音楽の共同発表も考えています。みんなで達成感、満足感を味わいたいですね。

昨年12月より私一人で指導することになり、少々頼りないところは、職員の皆さん、ボランティアさん、お母さま方にカバーして頂いています。ありがとうございます。これからもよろしく……。



♪つくしんぼの地図♪



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

カーペットありがとうございました

12月号の紙面上で「中古カーペット下さい」と掲載したところ、なんと３枚も頂くことが出来ました。その後も何人かの方にご連絡を頂き……本当に皆様、ありがとうございました。

カラオケマシン 完成!!

ＮＴＴ移動通信網様から頂いた中古パソコンとクリスマスにセントラル警備保障様から頂いたステレオを合体させ、見事に通信カラオケマシンが完成しました。インターネットからの曲のダウンロードには少しお金がかかりますが、ちゃんと歌詞も画面に出るし、エコーもバンバンだし、そりゃもうご機嫌です。

パソコンを寄付して頂いたＮＴＴ移動通信網様、連絡を下さった東京善意銀行様、ありがとうございました。

「つくしんぼをささえる会」ご入会　ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。

しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいのは相変わらずです。

そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。

会費は年間、一口二千円でお願いしております。

会員になって頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」お届けさせて頂きます。

年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

郵便振替口座番号　00120-7-168283
加入者口座名称　フリースペースつくしんぼ

編集後記

今回は２月と３月の合併号です。毎月発行と宣言しつつ、ここ二年間の通信は年10回の発行にさせて頂いています。

お休みさせて頂いているのは、８月と３月。８月は夏バテ状態で頭が回転しなくなってしまい……。３月は決算と予算でこれまた頭がパニック状態に陥ってしまうわけでして……。

そんなキョーフの年度末がまたしてもやってきてしました。計算は表計算ソフトがやってくれるので間違いないんですけど、その前の打ち込み段階にミスが多いんだよなあ。

「1234円」と打つべきとこに「1243円」と打ってあったりするようなケアレスミスが多いこと!! ま、そーゆー性格なので、数字は直せても性格は直せませんです。

この前、年度末までの決算見積を出したのですが、今年はしっかり赤字!! どこか切り詰めなければ、と見直してみたものの、おいおい、切り詰められるとこなんてもーないじゃん!!

補助金貰う前の方が絶対ラクだったよなあ……。

発行所　東京都世田谷区砧6～26～21
障害者団体定期刊行物協会　定価50円

町作連のＨＰ『町田の福祉のかいらんばん』が引っ越ししました。アドレスは http://homepage1.nifty.com/machisaren/ です